

《おおたユニバーサルデザインのまちづくり基本方針アクションプランVer.3》 (令和6年度～令和10年度)指標に対する取組み実績

【資料2-1】

「おおたユニバーサルデザインのまちづくり基本方針アクションプランVer.3」の進捗管理は、アクションプランVer.3で設定した指標を活用して行うこととしています。
 なお、進捗状況評価とは、目標達成に向けた年度ごとの達成度のことです。◎大きく達成(100%超)○達成(100%)△未達成(100%未満)の3段階評価としています。
 進捗状況評価△は、行動目標(いつ、何を、どれだけ行動するか、目標達成するため行うこと。)の練り直しが必要となります。

●まちづくりの考え方【1】「やさしさ・やくそく」に関する指標とアクションプラン

まちづくりの考え方1の指標を以下のとおり設け、相互に理解し合うために必要な交流の場や参加・参画するための関係機関との連携、情報提供の手段を整えます。

項目	アクション項目	指標目標(2028年度) ※アクションプラン掲載目標	令和7年度実績 見込み	令和6年度実績 (R7.3.31時点)	進捗状況 評価	今後の推進予定	所管課
1	「ユニバーサルデザイン」の定義を理解している人の割合	70.0%	70.0%	67.6% (資料1-3参照)	◎	前年度(59.4%)より、8.2%上回った。令和6年度の目標63%に対しても4.6%上回った。引き続き理解向上につながるよう調査結果を踏まえ、普及啓発に取り組む。	福祉管理課
2	おおたユニバーサル駅伝大会の開催	実施継続	実施	実施 (参加人数400人)	○	予定どおり、R6.6.2(日)に実施。7年度もR7.6.1(日)実施予定で、区は共催事業として支援する。	福祉管理課
3	日本語ボランティア養成講座の修了者数 (令和元年度～令和10年度の累積)	累計250人	40人 (累計246人)	39人 (累計206人)	◎	6年度は5年度同様、入門編とステップアップ編の両方を実施。直近3年間はほぼ同参加人数のため、7年度においても同程度の人数で見込んだ。今後も、2種類の講座を開催していくことで、毎年目標達成人数(25名)より多くの講座修了者を輩出できる見込み。	地域力推進課 (区民協働・多文化共生担当)
4	認知症サポーター養成講座受講者数 (①令和6年度～令和10年度の累積) 【②実績累計(*1)】	①累計7,500人 【②延43,500人】	①2,988人 ②39,791人	①1,488人 ②38,291人	○	オンライン講座の需要が少なく、受講者の大幅な増加は見込めないが、7年度は小中学校を対象にした講座に注力し、多世代への啓発を図る。	高齢福祉課
5	小中学校での「総合的な学習の時間」等への身体・知的・精神障がい理解学習支援の実施回数	57回 【小学校40校】 身体20校、知的20校 【中学校17校】 身体10校、知的5校、精神2校	25回 【小学校21校】 身体15校、知的6校 【中学校4校】 身体4校、知的・精神0校	50回 【小学校40校】 身体25校、知的15校 【中学校10校】 身体7校、知的3校、精神0校	○	前年度(47回)よりも実施校は増加。募集時期や周知方法を工夫し、新規だけでなく継続実施につなげ、10年度の目標達成を目指す。	福祉管理課
6	障がい者就労定着支援登録者数	1,062人	1,130人	1,081人	◎	コロナが落ち着いて以降雇用率も上がり、新規就労者は増えている。今後も引き続き進めていく。	障がい者総合サポートセンター
7	タブレット通訳(外国語)の利用件数	1,500件	1,800件	1,677件	◎	外国人区民が増加傾向のため、6年度の件数が増加。過去3年間の平均に約200件を足し、7年度は1,800件を見込む。今後は予算が許す限り需要に応じて配備したい。	地域力推進課 (区民協働・多文化共生担当)
8	手話通訳・要約筆記の派遣件数	手話 延2,500件 要約筆記 100件	手話 延2,250件 要約筆記 85件	手話 延2,202件 要約筆記 85件	△	IT技術の進歩により、音声認識文字変換等の多様なコミュニケーション手段が選択できるようになり、派遣件数の大幅な増加は見込めない。	障がい者総合サポートセンター
9	協力不動産店登録数	150件(*2)	117件	107件	○	7年度4月1日時点で登録数は117件。毎年度新規登録や廃業等により増減しており変動はあまりないが、家主・不動産を対象とした居住支援セミナー等を通じて理解・啓発を行っていく。	建築調整課
10	要配慮者を対象としたマイ・タイムライン講習会参加者数 (令和6年度～令和10年度の累積)	累計1,000人	200人 (60事業者、140人)	113人 (33事業者、80人)	△	単年度目標200人が未達成となった。7年度以降は、実施回数を増やすなど、10年度目標達成を目指す。	福祉管理課

*1 平成19年(2007年)度からの累計

*2 大田区住宅マスタープラン(令和5年3月策定)において、令和14年度達成目標として、策定。

●まちづくりの考え方【2】「まち・くらし」に関する指標とアクションプラン

まちづくりの考え方2の指標を以下のとおり設け、まちの環境面の整備による、ユニバーサルデザインのまちづくりを進めていきます。

項目	アクション項目	指標目標(2028年度) ※アクションプラン掲載目標	令和7年度実績 見込み	令和6年度実績 (R7.3.31時点)	進捗状 況評価	今後の推進予定	所管課	
1	公園(*1)のバリアフリー整備数 (令和6年度～令和10年度の累積)	【2-2】 ユニバーサルデザインの 公共的施設づくり	累計 10か所	4か所 【累計9か所】 (田園調布せせら ぎ公園、貴船堀公 園、中央五丁目公 園、かにかくぼ公 園)	5か所 (六間堀緑地、田園調 布せせらぎ公園、洗足 池公園、古径公園、日 下山公園)	◎	6年度は都市計画事業により4か所、公園リニューアル事業により1か所の整備が実現した。7年度も都市計画事業により4か所の整備を予定している。	都市基盤管理課
2	放置自転車台数(*2)	【2-3】 円滑に移動できる施 設・設備としくみづくり	500台	325台	325台	◎	7年度実績見込みは、6年度実績と同数で算出。引き続き、放置自転車対策を推進していく。	都市基盤管理課
3	自転車走行環境整備の距離(自転車 レーン、自転車専用通行帯等) (平成28年度～令和10年度の累計)	【2-3】 円滑に移動できる施 設・設備としくみづくり	累計 約170km	約170km	約170km	○	自動車ネットワーク整備実施計画による整備が5年度に概成した。1kmに満たない道路等が残っているため、今後は都市計画道路等整備に合わせた、空間整備を推進していく。	都市基盤管理課

*1 ここでの公園とは、1ヘクタール(10,000㎡)を超えるような大規模公園や、概ね1,000㎡以上の中規模公園を指す。

*2 毎年10月、平日(晴天)の概ね午前11時頃調査を実施し、放置禁止区域・放置禁止区域に準じた区域において把握した放置自転車台数。

●まちづくりの考え方【3】「しくみ」に関する指標とアクションプラン

まちづくりの考え方3の指標を以下のとおり設け、より多くの区民が参画、事業者と協働できるよう、継続的な取り組みができる体制の構築を進めます。

項目	アクション項目	指標目標(2028年度) ※アクションプラン掲載目標	令和7年度実績 見込み	令和6年度実績 (R7.3.31時点)	進捗状 況調査	今後の推進予定	所管課	
1	UD合同点検におけるUDパートナーの 参加率(*1)	【3-1】 地域力を活かしたユニ バーサルデザイン推進 体制づくり	100%	97%	95.4% (全6回開催、延べ56 人参加)	○	当日体調不良等により欠席があったが、概ね参加。参加しやすい実施時期等考慮し、参加率向上を目指す。	福祉管理課
2	ユニバーサルデザインや障がい理解等 に関する職員研修の理解度(*2)	【3-3】 行政サービスのユニ バーサルデザイン	100%	85%	79.9% 【採用2年目研修】 75.7% 参加人数:166名 対象所属:全部署 【福祉理解スキルアッ プ講座】87.1% 参加人数:70人 対象部署:全部署 【心のバリアフリー研 修】77% 参加人数:39人 対象部署:施設保全 課、施設整備課、都市 基盤管理課、福祉管 理課の新採や異動職 員	○	昨年度(81.85%)より1.92%理解度が下がった(79.93%)が、6年度目標値80%は概ね達成とみなす。アンケート結果等を踏まえ、より理解しやすい研修内容の見直しを図り、目標達成を目指す。	人事課 福祉管理課

*1 参加率の算出には、事前に欠席の意思表示をした人を除く。

*2 理解度とは、研修のアンケート「研修内容を理解できたか」の設問に対し、4段階評価で4(理解できた)を選択した職員の割合